



職員組合執行委員長就任のあいさつ

名古屋工業大学職員組合 執行委員長
電気・機械工学科 市村 正也

これから一年間、組合の委員長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

私が組合に入ったのは、もうずいぶん前のことです。大学院を出て、名工大に就職して、たしかすぐに組合に入りました。そのころすでに組織率はかなり低かったので、勧誘もされないうちに自主的に加入を申し出たのは少しめずらしかったようです。(でも、今でもそういう方は少数ですがおられます) 何を考えて組合に入ることにしたのか、今となってはよく覚えていませんが、組合のような組織は社会には必要だと漠然と考えていたのだと思います。

(上から下へ指示が伝わり動いていく、というのとは違うスジというかメカニズムがなければいけないはずだ、というような感覚です) その後、大学は法人化され、組合の役割は明確になったと言っていると思います。したがって、私がどういう人間で何を考えているか、というようなことは実はどうでもいいことで、組合の委員長として当然やるべきことをやっていくだけだと考えています。

今、組合が取り組むべき大きな課題は、非常勤の5年雇い止め問題だと思います。無期転換が可能になるよう、できることをやっていきたいと思っています。

事務職員の方にとっては、働きすぎも含めた勤務時間の問題が深刻でしょう。教員の方にとっては、年俸制を含めた教員評価の問題が最大の懸案と思われると思います。

これ以外にも、さまざまな心配事、悩み事があると思います。ぜひ組合を悩みの相談室としてお使いください(組合に加入されていなくてもかまいません)。組合室を訪ねていただいてもけっこうですし、身近にいる組合役員に相談を持ちかけてもけっこうです。寄せられた相談ごとに、組合として何ができるか、まず勉強して(私自身は、勉強しないとわからないことが多いです)、できることを実行していきたいと思います。

いろいろな課題に対し、実際に何ができるか、正直なところよくわからない部分も多く、あまりできないのではないかという不安もあります。ただ、組合にはこれまでの長年の活動で蓄積されてきた知識や経験がありますし、外部の団体から情報や援助を得ることもできます。それになにより、組合には法律によって様々な力が与えられています。それらを十分に活用し、役員一同力を合わせて課題に対処していきたいと思います。